

令和7年度 小樽商科大学出版支援の募集について（通知）

今年度の小樽商科大学出版支援は、下記の要領にて募集致します。

「出版支援」は小樽商科大学出版会を通さない書籍刊行を支援するものです。

（日本経済評論社以外の出版社から刊行するケースが該当します）

●募集期間：募集通知日～2025年8月31日（日）まで（締切厳守）

●応募書類提出先 学術情報課図書係

●公募要件

【応募資格】

応募及び刊行の時点で、以下の資格を有する者

- (1) 小樽商科大学の教職員（非常勤講師及び非常勤職員を除く）
- (2) 前号のほか、本学の教育研究等に相応の貢献のあった者の中から、図書館運営委員会が特別に認める者

※一人の教員、研究者等が交付を受けられるのは小樽商科大学出版会からの刊行または出版支援のうち1回までとする。

※応募内容が同等であった場合は、審査において若手教員（45歳未満）を優先する。

【助成額等】

助成額は、海外での流通を希望する場合は上限150万円、国内の出版社（日本経済評論社以外）から出版する場合は上限100万円とする。申込多数の場合は出版会からの刊行を優先し、助成金額も出版会刊行を優遇する。

【助成にあたっての諸条件】

次の項目の全ての要件を満たしている新規の出版物（未刊行のもの）を対象とする。

- (1) 教育研究に関わる学術図書、教科書及び教育教材等に関する図書であること。
- (2) 学術性が高く、出版支援を必要とするものであること。
- (3) 提案書に従った申請図書の出版が期待でき、採択決定通知受理後、出版助成年度内に出版の完了が確実であること。
- (4) 提出者が申請図書の著者であること
- (5) 提出者が共著者又は単独若しくは共同の編者の場合は、申請図書の執筆及び作成に相応の貢献をしていると認められること

- (6) 小樽商大出版会から刊行できない（日本経済評論社以外の出版社にせざるを得ない）状況であること。（例：海外での流通を希望する場合や、事情により国内の別の出版社からの刊行となる場合）

※以下は対象外となります。

- ・他機関から出版助成金を受けたもの、または受ける予定のあるもの。
- ・当該年度小樽商科大学出版会の出版募集に応募したもの、または応募する予定のもの。

【刊行後の諸条件】

- ・著作権使用料については、受け取らないものとする。ただし、増刷、改訂版または増補版等を出版する場合には、別途協議の上、決定するものとする。
- ・書籍刊行後、5冊を本学に寄贈すること。
- ・出版図書には、「本書の出版は小樽商科大学出版助成による」旨を明記すること。

【公募手続】

- ・次の書類等を募集期間内に提出すること。
 - (1) 出版企画提案書(出版支援) (様式1)
 - (2) 令和7年度研究成果刊行経費交付申請書 (様式2)
 - ※刊行予算が研究成果刊行経費に依る場合のみ
 - (3) 完成原稿及びその電子ファイル
 - 図・表・写真等があれば併せて提出願います。
- ・「出版企画提案書(出版支援)」に出版支援を希望する理由を明記すること。
- ・応募に際して、事前に予定出版社を選定し、その見積書もあわせて提出すること。

※海外の出版社から刊行を予定している場合は、事務手続上の諸条件があるため、出版会事務局へ事前に問い合わせのこと。

※応募書類は、附属図書館ホームページよりダウンロードできます。

問い合わせ先

小樽商科大学出版会 事務担当：学術情報課図書係

TEL：0134-27-5272 E-mail：publish@office.otaru-uc.ac.jp

【刊行までの流れ】

申請をお考えの方は学術情報課図書係（publish@office.otaru-uc.ac.jp）までご連絡ください。

提出期限（2025年8月31日（日））までに、出版企画提案書（様式1）（及び研究成果刊行経費交付申請書（様式2））を作成し、原稿と合わせてご提出ください。



応募書類に基づき、図書館運営委員会にて採択の可否を審議します。

採択の結果を出版会会長である学長に報告するとともに、申請者に通知します。また委員会でのコメントに基づき、内容検討・加筆訂正などを依頼します。



採択された場合、出版社と連絡を取って、入稿、校正と刊行に向けて準備を進めていただきます。

出版会からの出版の場合、無料贈呈分30冊のうち11冊を、出版支援の場合は5冊を本学に寄贈いただきます。